

EU Indicators

発表日: 2019年6月21日(金)

欧州経済指標コメント: 6月ユーロ圏PMI速報

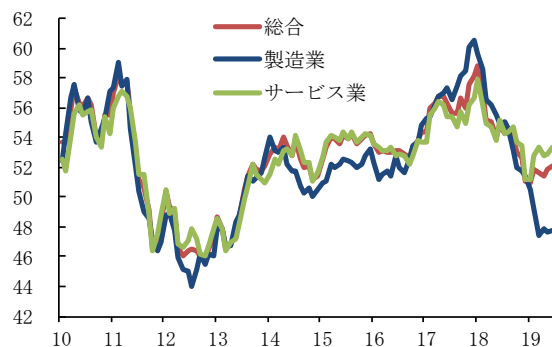
～製造業とサービス業の極端な乖離が継続～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

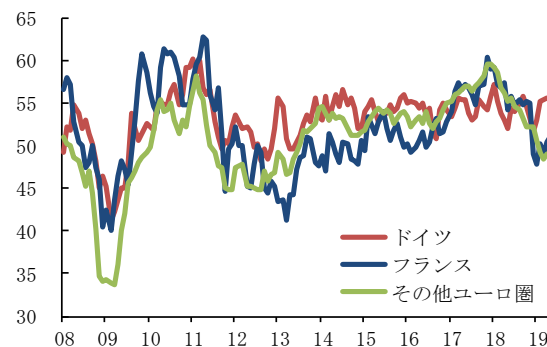
- 6月のユーロ圏の総合PMIは52.1と前月から0.3ポイント改善した。製造業PMIが5ヶ月連続で50割れを記録し、低迷が続いた一方で、サービス業活動指数（サービス業PMI）が前月から0.5ポイント改善し、底堅い水準を維持した。発表元のIHS Markitによると、同指数の水準は、4-6月期のユーロ圏の実質GDPが前期比+0.2%程度の成長に相当するとのこと。
- 製造業PMIの内訳は、入荷遅延（逆符号）が前月から悪化した一方、中間財在庫が改善、前月に50割れを記録した雇用が50超に復帰。生産（産出）は前月とほぼ変わらずの微減、新規受注が横這い。製造業の業況悪化が続いているものの、一段の悪化は回避している状況。国別の製造業PMIは、ドイツが6ヶ月連続で50割れを記録したが、悪化モメンタムは前月から鈍化。フランスは、構成項目全般が持ち直し、改善モメンタムが加速。ここから逆算して、その他ユーロ圏の悪化モメンタムが加速した模様。サービス業活動指数は、ドイツが高水準で改善が僅かに加速、フランスが大きく加速。ここから逆算して、その他ユーロ圏は横這い圏で低迷している模様。
- 政策当局の間で景気の下振れリスクへの警戒が高まっているが、今月のPMIはこうした懸念をやや和らげる内容となった。ただ、先行きの不透明感は強い。製造業の業況低迷の長期化がサービス業に波及する恐れがあり、引き続き警戒を要する状況には変わりがない。

■ユーロ圏のPMI



出所: IHS Markit

■ユーロ圏: サービス業PMI



出所: IHS Markit

■購買担当者指数 (PMI、季節調整済み)

	2018				2019											
	3Q	4Q	1Q	2Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
ユーロ圏 総合産出指数	54.3	52.3	51.5	51.8	54.1	53.1	52.7	51.1	51.0	51.9	51.6	51.5	51.8	52.1		
ユーロ圏 製造業購買担当者指数	54.3	51.7	49.1	47.8	53.2	52.0	51.8	51.4	50.5	49.3	47.5	47.9	47.7	47.8		
ユーロ圏 サービス業業況指数	54.4	52.8	52.4	53.0	54.7	53.7	53.4	51.2	51.2	52.8	53.3	52.8	52.9	53.4		
ドイツ 総合産出指数	55.2	52.4	52.1	52.5	55.0	53.4	52.3	51.6	52.1	52.8	51.4	52.2	52.6	52.6		
ドイツ 製造業購買担当者指数	55.5	51.8	47.1	44.7	53.7	52.2	51.8	51.5	49.7	47.6	44.1	44.4	44.3	45.4		
ドイツ サービス業業況指数	55.0	53.3	54.6	55.6	55.9	54.7	53.3	51.8	53.0	55.3	55.4	55.7	55.4	55.6		
フランス 総合産出指数	54.4	52.3	49.1	51.4	54.0	54.1	54.2	48.7	48.2	50.4	48.9	50.1	51.2	52.9		
フランス 製造業購買担当者指数	53.1	50.6	50.8	50.9	52.5	51.2	50.8	49.7	51.2	51.5	49.7	50.0	50.6	52.0		
フランス サービス業業況指数	55.0	53.2	49.0	51.7	54.8	55.3	55.1	49.0	47.8	50.2	49.1	50.5	51.5	53.1		

出所: IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

